

令和2年度 工業科

教科	工業	科目	課題研究	単位数	6 単位	年次	3 年次
使用教科書							
副教材等							

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・課題研究は、皆さんが2年間学んできた造形基礎科目や領域選択などで身に付けた知識や技術を組み合わせ、一つの専門領域に取り組むものです。
- ・単に一年間かけて制作をするというのではなく、港南展(卒業制作展)での展示発表を見据えた工程管理、制作の意図や制作にまつわるエピソード等のプレゼンテーションにも取り組んでもらいます。

2. 学習の到達目標

- ・生徒自らが、これまでの学習により身に付けてきた知識と技術を活用させ、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育成する。

3. 学習評価(評価基準と評価方法)

観 点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 技能	d. 知識・理解
観 点 の 趣 旨	テーマに対して目的を設定し、計画的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、造形に関する探求的・創造的な能力を養おうとしている。	目的を理解し、達成するために、適切な手段を講じ、解決をめざし、自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	選択した専門分野に関する基礎的な技術や技能を身に付け、意図に応じて、創造的に表現方法を工夫している。	造形作品などの表現の工夫や造形文化などを理解している。また、造形芸術について自分なりの意見や考察ができています。
評 価 方 法	学習状況の観察 出席状況 課題提出状況	学習状況の観察 課題提出状況 課題研究発表会	学習状況の観察 課題提出状況	学習状況の観察 課題提出状況 課題研究発表会

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
年間	単元の分け無し	全体オリエンテーション 専攻別オリエンテーション 各自研究テーマの設定 日程管理・計画表の提出	○			○	<p>a: テーマに対して目的を設定し、計画的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、造形に関する探求的・創造的な能力を養おうとしている。</p> <p>b: 目的を理解し、達成するために、適切な手段を講じ、解決をめざし、自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。</p> <p>c: 選択した専門分野に関する基礎的な技術や技能を身に付け、意図に応じて、創造的に表現方法を工夫している。</p> <p>d: 造形作品などの表現の工夫や造形文化などを理解している。また、造形芸術について自分なりの意見や考察ができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・出席状況 ・課題提出状況 ・課題研究発表会
		構想・エスキース、材料用具の購入計画	○	○		○		
		下描き・コンセプトボード・習作等の制作	○		○			
		第1 中間発表会(専攻別)	○	○	○	○		
		港南展(課題研究発表会)実行委員会立ち上げ	○	○				
		港南展レイアウト等検討		○		○		
		港南展ポスターDM等の検討・製作	○			○		
		会場視察 キャプション決定		○		○		
		第2 中間発表会(全専攻)	○	○	○	○		
		最終発表会(専攻別)	○	○	○	○		
		港南展搬入・会期・搬出(全専攻)	○		○			
		専攻別総括	○			○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。